



125th  
Anniversary  
since 1900

# 江戸の戯作が見た 「世界」と「日本」

相模女子大学日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店新宿本店アカデミック・ラウンジシリーズ  
相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える  
vol.7

講師 学校法人相模女子大学理事長  
風間 誠史  
相模女子大学名誉教授

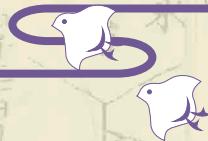
2025年9月28日(日) 14:00 ~ 15:30 (開場 13:40)

紀伊國屋書店新宿本店 3階 アカデミック・ラウンジ

参加無料  
入退場自由

事前に二次元コードよりお申込みをお願いいたします。  
(事前申込みなしのお客様もご参加いただけます。当日会場までお越しください。)





# 江戸の戯作が見た「世界」と「日本」

江戸時代には様々な読み物が出版され、知られざる傑作？怪作？も色々あります。今回はその中から、主人公が「世界」に飛び出した物語を紹介します。「世界」の国々では、不老不死で皆が「死」に憧れていったり、男女が平等で、女性が出産するかわりに男性がつわりで苦しんだり…、そして最後にとてつもなく恐ろしい国に至って、主人公は「日本」へ逃げ帰ります。どんな恐ろしい国なのでしょう。海外渡航が禁止され、限定された「世界」の情報しかなかった時代の想像力に触れてみましょう。

## 講師 風間 誠史

学校法人相模女子大学理事長

相模女子大学名誉教授

東京都生まれ。東京都立大学大学院人文科学研究科国文学専攻博士課程修了。

専門は日本近世文学、近世の思想（国学）。

相模女子大学短期大学部国文科を経て、相模女子大学学芸学部日本語日本文学科教授就任。学芸学部長、副学長を経て、2015年に相模女子大学・相模女子大学短期大学部学長、2021年に学校法人相模女子大学理事長に就任。2024年4月より相模女子大学名誉教授。

主著『近世和文の世界』（1998年、森話社）『春雨物語という思想』（2011年、同）『近世小説を批評する』（2018年、同）



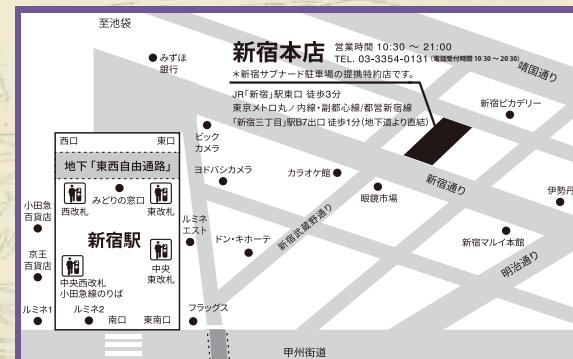
## 会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店 3階 アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より 徒歩3分

地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅 B7出口より 徒歩1分（地下道より直通）



## 相模女子大学日本学国際研究所とは ...

相模女子大学は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に相模女子大学日本学国際研究所を開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っていては見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。

